

ふくい町内会サミットまとめ

STEP1 町内会の魅力アップ

新たな担い手を発掘する
女性の入りやすい会にする、女性を役員にだす、世代の引継ぎ、メリット+報酬 子供にさせる(18才以下の子供にも)、考える力をつける(子供の) 世代交代で若返りをはかり、壁を低く、女性や若い人の話を聞く 年齢層を分けての町内での集まりを作る。各年齢層で会長を作る、得意なことを活かせる場、教育 サポーターを作る、サポーター自らが楽しめる、ムードメーカーをつくる、企業を巻き込む 同級生を誘う!、女性会長、町内会に入会しやすくする、自治会長等の役員は女性になってもらう 役員手当のアップ、子供のころから参加させて親しみをわかせる、 区の行事の主体を若い世代に考えてもらう、学生報酬、バイト、特技を発揮してもらう、仕事受注
会費や会計を見直す
会費に関してシニア割、学生割などを取り入れてはどう?、お金の明確化、手当の明確化 世帯年収に応じて会費を変えてあげてはいかがですか? 会費の使い道(子育て支援を身近な地域から)、役員の方への手当→お酒・弁当、日常用品に変更 物価が上がっているから区費を少なくする(いざとなったら預金を使う)、ポイント制→くじ引き 積立制基金、会費を減らす、一人世帯、障がい者割引、会計の透明化 地縁団体化でお金を借りられる体制、最初の数年間会費無償化または段階的に
ご近所同士の助け合いを強化する
ルールを守る(各自治会のルールを参考に)、町内会は町の人達を守る、助ける、隣の自治会と協力 子どもを見守る視点、街がきれいであること→防犯 祭りや地域の宝となるものを守る、子どもの頃からの関わり、手助け(介護、育成) 小さな単位で声かけを行っていく、除雪、防犯、お互いさま、防災(地震、火事、水害) 親密な関係を持てて困りごとを相談できる、世のために活動する喜びを感じられる 助けあいが重要なことが分かる、避難所開設訓練(運営の予行練習) 災害時のリアルな避難方法を考え、シミュレーションする日を作る、子育て支援 近所で学童代わり(集落センターで)、子供を誰かが見てくれると助かる、塾をやる ペット(ヤギ)を愛玩、野菜市場 農家出品→一般家庭の買入、安価で仕入れ 学校に行きにくいお子さんのために、平日の日中に町内会館で居場所を開設する たまに子ども食堂をする 貧困でなくても孤食をなくす 同時に1人暮らしのお年寄りも孫世代と交流する 防災ワークショップ(ごはんづくり、地域の避難経路、場所の確認)、勉強会(勉強みてもらえる) 子供の預かり(帰宅まで見てもらえる)
人と人とのつながりを作る
直接顔見て話す、矢面に立つ覚悟(半分敵)、みんなが物言える人をトップにする 町内会の構成(班ごとにコミュニケーションの場をもうけて交流を図る)、ゆるいつながり、安心感 子供会など団体の活用、連携、役所が出向く、総会に地域協力員を招く 会長や他委員に日頃の感謝の気持ちを伝える機会をつくる(自治会のお便りにコメント欄を設けるなど) 携帯番号を教える、人とつながる幸せを教われる、人間関係、コミュニケーション 小さなお葬式を集会所で、空き地を定期的にドッグランにする、みんなでやれば楽しいこと

世代間交流、50代に限定イベント、世代間交流のために、本の読み聞かせ、ゲーム会
昔の交流の場を復活させる(同世代の若者が集まる企画)、子ども料理教室(先生は高齢者で)
親子世代での活動により交流をはかる(古紙回収)、近所からのウェルカムメッセージ
地区の会館を開放(平日夕方は子供の居場所、高齢者や一人暮らしの方は話し相手を探しに集まる)
町内ウォーキングサークル、子供の居場所(公園の確保、田んぼの活用、スポーツ団結成)
地域のお祭りに外部の人も来てもらう、無料で食べ放題、無料で物が配布される
イベント的な催しへ町会単位での参加、町会でチームを作ってスポーツ大会へエントリー
知りあい、気心のあった人との会話、社交性のうすい人の対応、簡易的な情報共有
小学生の宿題しよう会(子どもとシルバー世代のつながり)、町内会館で未満児とお母さんのお茶会
世代を超えて顔見知りが増える→町への愛着がわく、町内クイズ(どこの植木?など)
町内会に入ると仲間ができ、リタイア後も楽しく時間を過ごせる、町内の素敵と思える写真
同世代のつながりがあると、あるいは増えるのであればいい、班ごとのバーベキュー大会
各家庭紹介の回覧(賞を取ったとか、大会に出場するとかを褒めたり応援したりする)
町内会で懇親会をする、区の行事に参加して初めて区の仕事が理解できた
初めて参加にかかわらず自己紹介がある何かイベント、グループ活動になるような町内清掃
夕食会、敬老者(しゃべりたい、子供関わり)、楽、ゆるい、責任なし、イベント化、ランク・ポイント制
進行役(コーディネーター)

役員の負担を軽減する

役職の細分化(自治会長(役員)の負担軽減)、イベント等やる事減らす、スリム化した方がいい
役員間のグループLINE化(いずれ区民間に拡げたい)、ムダの縮小、役割分担(細分化)
必要な事をする(イベント等・若手に参加してもらう・町内会の良さを知ってもらう)
効率化を重視する(無駄な会議を減らす(オンラインでもできるのでは?))、今までの〇〇べきを見直す
町内会のマニュアルを動画にしてみる→人件費抑える、個人が見たいときに(窓口がどこにある?)
グループ分け(①ふれあい②周知③改革)、町内活動の簡素化(負担軽減)、方法を専門家に聞く
スマホ教室(基本操作、LINE)、親だけでなく同居の子どもに情報が届く(LINE、SNSの活用)
LINEグループ、できない人向けの勉強会、配りものの回数を減らす、そうじの回数を減らす
辛いイベントをやめる→楽しい事に変える、役割を見える化し他の役員に振り分ける
役員とかの仕事の任期が短いと入りやすい、携帯電話活用教室、LINE、SNSの活用
各種行事虎の巻(こうするとラクできる)、回覧板、電子化と選べるようにする
困りごとを広く専門的な人を巻き込んで考える

魅力的なイベントを開催する

めっちゃ楽しいお祭り(ビール飲み放題)、年代別にメリットがあるイベントを企画する(例:ママ友会)
フォトウォーク、三世代交流ウォーク・紙飛行機飛ばし・壮年会、老人会、婦人会、防災運動会
町内会の公民館で様々な取り組みを行う、賞品の高価なゲーム大会の実施、非常食食事会
町内主催のバーベキュー大会、老人と子供とが共同のイベントに参加させる、町内美化、散歩
女性に関心のある問題点に関するイベント(講演会)などを開催、祭りの打上花火
女性、子供向けのワークショップで親しみ(リース作り)、モルック大会(年間のチーム戦)
子ども会やBBQなどの行事が予算の都合でコロナ後行えていない、会議参加者にゴミ袋を配布
アンケートをとり、要望を把握し、要望に沿える行事を企画する、同世代との交流、地域行事、イベント
防災訓練と親睦会の合体イベントで、町内の年齢を問わず、みんなが楽しめるイベントを何回も行う

班ごとに競い合うゲームで楽しめると、もっととなり近所が仲良くなる、美観、清掃＋楽しいこと
町内会に入ると得になると思うことを行う(ターゲットは子供)、子どもも楽しめるイベントには親も集う
町内×保育園コラボ(祭りでの歌、ダンス)、少人数のワークショップ(DIY、園芸、手芸、野菜作り)
イベント等を通して、「楽しそうなことやってるな」という雰囲気をつくる、ターゲットをしばる！
若い人、入っていない人向けのイベント(プチキャンプ)、材料は無料、ビールは有料、移動マーケット
町内会へ入ってもらい、イベントの企画は若い人にやってもらい、役員の動員負担が少ない催し
近くの公園で桜を見る会(飲食物は各自持ち寄り)、親睦バス旅行(子ども世帯中心)
四季毎のイベントに子供参加できる、一緒に子供をみてる、災害訓練をかねたキャンプ、BBQ
町内以外の人でも参加出来る企画(体験型)、区民総宴会、イベント担当の役員を決める
対象者を絞った形での企画(年齢、男女)、子ども対象イベント、女性も楽しめるイベント
花見、楽しいイベント、飲み食い、普段できないことをやる、各世代、年齢層に応じたイベント

活動内容や加入のメリットを明確化する

町内会の明確化、役割の文章化、逆アプローチ(なくなったらどうなる？ワーク)
町内会の楽しさを言語化する、子どもが町内会を知る機会(模擬町内会→行事にしちゃえば？)
活動報告チラシ配布、幅広い世代に興味を持ってもらう(防災、孤独死、通学の子ども)
活動に対する明確な理由付け(入りたいと思わせる要素)、メリットを明確に提示して着実に実行する
自治会の活動や役割のPR(自治会活動、地区の行事、ヒトの活躍ぶり)、規約の明文化
自治会の魅力発信、SNS、ホームページ等、新しく加入する人にココの町内会に入るメリット
何が行われているか(運営)？分かる(見える)、行事などでの交流の過去の事例を知れる
回覧などの情報がデータで見れる、町内の文化財の外部発信(町民によるガイド)
活動新聞づくり教室からの広報委員会へ発展、これは来て欲しい行事アナウンス
活動・お金の見える化、町内行事参加スタンプポイント、区民が何を求めているかのアンケート調査
町内会に入ったら変えられることは何か？(過去の事例紹介)、仕事内容が見える化すると不安解消
住んでいる人がハッピーになれるようやる、インセンティブを考える
町内会が何をしているか知れるように、活動をSNS等で配信

STEP2 町内会の課題と解決策

【課題】人と人とのつながりが希薄になっている 周りの人達をわからない、世代間交流が少ない、となり近所しか知ってる人いない 母親が一人暮らしで心配、どの家がSOS発信一歩手前なのかすら周知されていない 普段から交流がないご近所さんとの交流、外国人とのコミュニケーションがなかなか取れない 外国人(年度で代わってしまう)、隣近所希薄化、人口増えるのよし悪し、住民と行政の差ある 他人の面倒をみる人が少なくなった、孤立→ゴミ屋敷、コロナ後、町内のイベント(BBQ)がなくなった イベントがない(交流する機会がない)、青年活動知らない、同じ町内の人同士のあいさつ 高齢者の個人情報班長⇄福祉委員⇄区長で共有できればいいのに…、マンション住人の取り込み方 婦人部の一体感をどうするか?(コロナ禍で活動が減った)、世代間の交流をどうするか 要支援者への各地区でのフォロー、周りに誰が住んでいるのか分からない 地元の人と賃貸の人との分断、壁を感じて活動などに参加しにくい
【解決策】 お世話好きのおせっかいの方をつなげる役割の方を増やす→あいさつ、近所で声掛け運動 コミュニティナースの存在→地域のおせっかい人、地域を元気にする実践、お祝いを作る 他自治会との交流会とか町内会サミット、(回覧板の)直接手渡しを義務化 地区の人達の中で気軽に連絡取れるようにする(LINE等)高齢の方も携帯持っていればダウンロード等使 い方を伝えたりできるのでは?災害時にも連絡取する方法が必要になる、若手企画の行事 少数派の方がイベントに参加しやすいアイデアを出す(外国人、障がい者、LGBTQ) 平日も使って参加できるイベント提案(オンラインで得点入れてく)、町内会でのイベント開催 体育祭、飲み会、神社まつり、防災バーベキュー、イベントにキッチンカー、フェス プランコンテスト、複数地区で祭り、イベント、まず近所づきあい、本音で話す 町内会活性化のため、会館をどんどん利用、イベントを通じて地区の組織力の強化
【課題】災害発生時の対応に不安がある 防災、災害時に小さな子供がどのような支援を受けられる?おむつが無いだけでも大変 ペットの災害時のケアをどうするか?、災害時の町内会の役割、土砂災害からの避難(山手の地域) 災害→学校へ避難、車が進まない、学校の受入体制、未加入者への災害時の対応 災害、特に地震の時の対応に不安、不明がある→何か講演、勉強会を開いてもらえないか? (防災に関して)責任問題があり、課題が大きすぎて何もできていない、避難訓練が非現実的 水害(道路が通れない)、災害時の高齢者の避難をどうしたらいいか心配、防災対策一備蓄 避難する時のネットワーク(誰とどこに行くのか、が心配)、災害時、賃貸に住んでる人どうする? 1人暮らしのお年寄りが住んでいる場所を把握できていない、災害時の弱者見守り
【解決策】 町内ごとの避難経路があれば渋滞しないのでは、定期的な避難訓練+連絡経路の見える化 県や市などの災害マップを自分の住んでいる地域に落とし込んだもの 備蓄品を会費から積み立てる?負担のない程度に、どうするか?を想定する 専門家の分析・意見、自衛消防隊の人員確保、防災倉庫・備蓄、必要なものを町内で 地震があつて防災への関心が高まったため、独自に区で高齢者名簿を作ることが決まった
【課題】高齢者や子ども等の見守り・支援に不安がある
高齢者の見守り、一人暮らしの高齢者が増加している、高齢者の一人暮らしへのフォロー

高齢者のみの家庭が増加(2人→1人) 、 ふれあいサロンに行けない高齢者 高齢化(高齢化率 48.8%、26 年には限界集落になると予想されている)→高齢者中心の行事や活動になる→若者にとって魅力がなくなり、ますます高齢化に拍車 、 超高齢化→生活弱者住みにくい 高齢者ができない事がある(除雪、買い物、避難、デジタル対応、日常の楽しみ、豊かな生活) 高齢化や高齢者の見守りは民生委員や行政に任せてる！？ 、 高齢者の活動量低下 高齢者の安否確認 、 一斉清掃できない高齢者 、 個人情報の問題(情報が伝達しない) 高齢世代多い(孤独死) 、 降雪時の除雪が高齢化で困難 、 花壇・畑の貸し出し 老人宅への声掛けがしづらい 、 高齢者を全て把握しているか 、 共同ペット 子どもの集団登校見守り 、 子供の人数が減ってきている 、 児童の見守り隊が集まらない 子育て問題は町内会としてはほとんどタッチしてないと思う 、 子育てワンオペ 学童の見守り隊が高齢化で2,3年後が不安 、 子どもが少ない 、 カギっ子 子供会の運営に毎年変化があり十分なフォローができない 、 親の出勤が早い家庭への対応 夕方の学童保育はあるが、朝方の保育を考える 、 不登校やひきこもりなど見えにくい問題 通学路(歩道)の雪かき(橋の上) 、 通学時間帯の運転マナー(スピード)
【解決策】 高齢者の住居をマップ化して、近所で見守る体制を作る 、 買い物付添隊 、 避難困難者MAP 共同除雪機&除雪隊MAP 、 市の子育てワークショップ→出張であるとよい 高齢者世帯の安否やゴミ捨ては地域の学校にあるボランティア部にまかせてみては？ 赤いバラ作戦は区へ提案したい！(隣近所で一人暮らしのお年寄りを見守れるといいと思う) 雪かきできない方のヘルプ(妊婦、高齢者、ケガ人)ヘルプ出せる方法(LINEグループ?)を準備し、手が空いてる方、私行きます等ボランティアへ 、 バラ(70代月1回) 、 老人会の活性化(共同農園など) 高齢者見守り(住民主体サービス補助事業の活用、毎週1回生協バス) 子どもの習い事を開いてもらう 、 パトロール 、 除雪作業、除雪機の確保 フードバンク(学生配布バイト) 、 福祉委員が情報を把握 子供会ボーリング(子育て世帯少ないから簡単にすませる)
【課題】ゴミ捨てに関する問題がある ゴミ捨て方 、 ゴミのルールを守られない 、 ゴミの出し方の周知 ごみの収集システム(ごみステーション:加入者→使える、未加入者→使えない) ごみの収集方法(拠点回収の係は負担が大きい、高齢者は大変、真冬の早朝に数時間はつらい) ゴミのポイすて 、 ゴミすて場掃除当番 、 ゴミの分別ができていない 、 マナー(ごみルール) ゴミステーションの鍵をどうするか？ 、 ごみ出しのルール(分別)が守られない、カラス対策
【解決策】 ごみの収集システム(行政サービス)は誰でも使えるようにする(町内会の加入、未加入に関わらず) 資源ゴミの回収方法を拠点回収からごみステーションの回収にする みはり(7:00-7:30 隣の地区と合同で集めて100世帯で回している)ので1年～1年半に1回のみ) ゴミ捨て(ビン、電池等)協力(センター持って行く人、地区の方で、他に捨てる人いませんか？と呼びかけ (LINE グループだとやりとりしやすい)) 、 週ごと清掃当番 、 マナー教室 、 回覧で回す
【課題】空き家が増加している 空家が増えている 、 空き家の問題(50年前に入区した方の高齢化、一人暮らし、施設入居) 安全化(特定空家があって、通学する児童に危険が迫っているにも関わらず、数十年放置されていること)

→町は代執行をためらっている 、 空き家が多い 、 空家対策、荒地・休耕田対策 、 空き家の管理 隣の家が空き家ですつるが伸びてくる 、 空き家が多く、防犯、防火、植込み管理の問題がある 高齢者の一人暮らし→空家問題
【解決策】
実際に代執行を複数件行っているあわら市の事例を調べ、町に対し要請すること→町内で勉強会を開き、 一つの問題を共有することで連帯意識を醸成し、町内会にやりがいを持つ 特定空家を除却した跡地を宅地にして若者に転入してもらう 、 空き家バンク
【課題】その他の問題
人が歩いてない 、 通学路が暗い、田んぼの所有者が街灯に反対(稲の生育に問題) 、 空き巣、防犯 街路樹の剪定 、 公園清掃 、 公園の草が多く生えており草刈りが大変 空き地の草刈り(別荘地なので遠方の持ち主が対応してくれない) 、 雑草・雑木(山際の道) 山の保全、鳥獣害対策 、 野生動物(猿、猪、鹿)農地掘り返す、猟師いない 、 農業従事者不足 スマホなどがストップしたら 、 交通事故が多い 、 ペットのトイレ問題 近所の方が週4でバーベキュー、カラオケ11時までするのでうるさい
【解決策】
稲の生育に問題のない街灯 、 防犯カメラ設置 、 まめに草を刈る、防草シート 猟師の制度を広報 、 AEDのマップ→子供がAEDマップを作る→AEDマップ宝探しスタンプラリー

STEP3 町内会の運営改善

【課題】役員の負担が大きい

役員の負担多い、夜の見守り、地区の運動会、交通安全、消防団、町内会活動のDX化
高齢者が多く、動ける世代の負担が増えている、区長が長続きしない(7割の区で2~4年で交代)
町内の情報共有はLINEで上手く伝わらない(話し合いが表層倒れ)深みある議論に入っていない
体力がないと参加できないイベント、デジタルツール使えない人多い、回覧板の必要性を感じない
IT化(新しい世代の魅力ある町内にとLINE等による情報発信をしても、置き去りにされたという意識を高
齢者が感じてしまっていること)、共働き、土日祝勤務者の町内会活動参加不足、困難
役員の仕事多い、仕事しながらできない!、一部の人(区長や役員)に負担が集中する
会長に負担が集中してしまう(分担できないか?)、複数の外部団体へ担当を出す必要がある
世帯数が少なく、役員にあたる頻度が多い(負担になっている)、役員の負担、配布物、集金
天候に左右される清掃活動などの、共有を急ぐ情報伝達が大変、集金140件、回覧10枚
高齢者、共働き世帯は金銭的、肉体的に町内会活動は厳しい、総会が長時間化(タイパ、子育て世代)
自治会長になると上部の組織(連合会)の仕事もさせられ負担となる(分離できないか)
コロナがあけて、自治会の祭りが今年から始まりそうだが、負担が多い、集金が大変
週当番の仕事(回覧まわす+集金)誰が入会してるか確認しながらポスト投函大変
町内会が市役所の下請けのようになっており、負担もあるが、魅力につながりにくいので、町内会活動が活
発化しにくい、負担を減らす(プロセス、順序)継続する、止める、縮小、清掃(ペナルティ)
祭りが平日に開催→人が集まりにくい、紙の回覧板、役員総会が毎月ある(多い)
回覧板がアナログなので回るのが遅い、イベントの開催・中止の連絡(電話が大変)
情報共有→デジタル化が進まない、役員の仕事がたくさんありすぎ、行事が多すぎる(月2回)
仕事が忙しい(仕事以外のことを考えていない)、自分が役員のときは穏便に→変えない
古いままのルールが未だに続いている、総会の簡略化に支障がある、古くからのつながりが強い
加入しないと理由を根掘り葉掘り聞かれる、今の町内会は時代にあってない
区総会(長時間(4時間))、老害どうしたらいいか(のさばる)、古い考え方が常識となっている
年配の長老が仕切っている(敷居が高い)、同じ活動(行事)を毎年繰り返す(新しいことをしない)
年配が口出しをする、出しすぎ

【解決策】

男性と一緒に片づけ(女性も)、区割再編、ガラガラボン、役員でSNSの活用、次に町内に展開
情報機器活用(例:新江守中自治会)、見える化、表にする、勉強会、業者委託、DX化
スマホ教室(基本操作、LINE、YouTube)、「会計→副会長→会長」と会長になる前に役を経験しておく
自治会役員だけのLINEグループをつくって、情報共有に活動する、役員や地域へのグループLINE
近隣の自治会との合併により役員の負担を減らす、輪番制(家の建っている順番でまわしている)
市役所や自治会連合会が情報提供(補助金情報のみでなく、一連の流れをセットで情報発信する)
回覧物を減らす、各戸配付を回覧にして部数を減らす、業者委託する、口座引落し
担当と役割を細分化して1人の負担を減らしていく(任期は短く)、事前に資料配付、質疑がスムーズ
回覧の回数を減らす、内容をデジタル化する、LINE、RCN(ケーブルテレビ)、外部委託を活用
事業内容見直し、負担軽減を図る、集金→引き落とし、外部委託、募金→各団体が集める
回覧はやめてHP(LINE、Facebook)等での閲覧に、集金はやめる(緑の羽募金等)
会費は総会時にもってくる、総会行けない人は区長さんポストに入れる、溝そうじの外部委託

おみこし(暑い日に大人も子供も大変なので、規模縮小する、回る所少なくする) 、 役員を増やす
高齢者→民間委託 、 子育て→地区の子育て世代が気軽に集まれる(市にフォローしてもらう)
IT担当(高齢者に使い方を教える)、「そもそも」を宮司さんに確認(神事:平日、曳山:宵宮後の土曜日)
Web会議、SNS、LINEの活用(回覧板も併用) 、 骨格だけに(余分なものは無くす)
役員総会の話す内容を絞って隔月にする 、 役員は1人1役 、 仕事を細かくする 、 LINE の活用
回覧板のデジタル化 、 RCN(嶺南ケーブルテレビ)の掲示板 、 他の地区のアイデア共有
誰でもできる(不安を取り除くしくみ→見える化) 、 キッチンカー 、 「したくない」を「したい」に
地域の企業を巻き込む 、 企業と町内会のマッチング

【課題】役員の担い手が不足している

役員の引受人を選ぶのが大変 、 人が集まらない 、 女性の役員がいない 、 役員不足、なり手がない
役員になってくれない 、 町内行事への参加が少ない 、 社会奉仕の時間がない
町内会長のなり手がない 、 町内会長として平日の日中の会議等が多く、サラリーマンは出られない
役員になるのが嫌だから入りたくない(休みがなくなる) 、 女性の参加が少ない、余裕ない
町内会の地図が更新されていない 、 参加しやすい年代の偏りがある 、 役員のなり手、決め方
自治会長のなり手がない(輪番制にしても断られ、最後は町内会を脱退すると言われる)
少子高齢化・役員の硬直化・若手の担い手不足・子供会運営 、 町内会の運営する人がいない
総会の参加者がいつも決まっている 、 役員の成り手不足 、 若者は町内会に抵抗がある
役員のなり手不足 、 行事参加者が少なく同じ顔ぶれ 、 若い世代の活用× 、 集まるのは同じ顔ぶれ
若者が外に出ていく 、 コミュニティのアフターコロナの再構築 、 役員のなり手不足
役員のなり手不足で何度もやることに(固定化) 、 役員のなり手がない
班内の高齢化にて役員のなり手不足 、 若い人、女性やはり発言しづらい 、 意見を言いづらい
ジェンダー(会長→男性、会計→女性) 、 多様な声が反映しない

【解決策】

若い人を入れて人の話を聞く 、 若い人の育成 、 サポート体制の検討(学生ボランティア、同好会)
中・高・大学生のアイデアを聞く(どんなことがしたいか) 、 花は種、町外から労力分担
町内から出ていった、ゆかりある人に手伝ってもらい、うまく巻き込む(遠方に住んでいる自治会員の家族等
も、普段からコミュニケーションを取っておくと、なにかあったときに連絡できる)
世代継承可能な町内運営、現在の区の執行部役員は高齢が多いため 、 多世代交流
役員会のポストを1個増やし、若い世代の意見を尊重する 、 運営側に回ってみたい高校生がいる
次世代への新規プロジェクト(ふる里茶屋、集落活性化事業) 、 楽しい背中を見せる
将来の役員の担い手不足のために、シニアが頑張る 、 中高生が活躍できる仕事を作る

【課題】町内会の情報が分からない

そもそも町内会の存在意義が不透明 、 若者は町内会にやりがいを見出せない
町内会に入るメリットを発信していない 、 町内会がなかったら、なくなったら
町内会活動の良さ(素晴らしさ)が知れ渡っていない 、 町内のことに興味を持ってもらえない方が多い
マンションの人たち町内自覚失ってる(区費込みなので) 、 他自治会の活動が見えず、その機会もない
町内を活性化できる魅力あるイベント(活動)が分からない 、 他の自治会の情報が少ない
町内会に関わる制度を理解するために説明してくれる人が必要
自治会長が1年改選のためノウハウが蓄積しにくい 、 何をしているか、何のためにあるのか分かりにくい
話し合う機会があまりないので、企画が起きてこない 、 活動内容がわかりにくい

町内会の活動がいまいちよく分からない 、 活動内容が不透明、周知されていない 役員の仕事からず、引継ぎが恐ろしい 、 そもそも何をしてほしいのかを分かってない 自治会への入り方がわからない(引っ越してきた人)
【解決策】
ある事で町をキレイにしてる 、 子供達、お年寄りをたすけられる 、 町を守る 消防のしくみがわかりやすい(消防団・消防署) 、 大変さを教えるんじゃなく、楽しさ教える 自治会改善アンケートの実施→参加してくれた方には〇〇プレゼント 、 広報力UP、魅力発信SNS 住民アンケートをする 、 アンケートで区民の人が自治会に望むことを知る
【課題】会費・会計に問題がある
お金の使い道が不透明 、 会費を払ってくれない人が近年出てきた 、 集会所維持 、 予算・会費 公民館の耐震化と防災設備・備品 、 町内会⇔神社 、 会費の使い道が不明確 、 運営費の不足 集会所を建てる予定で何も進まない 、 活動がないのに会費は毎年同じ 、 財政面で苦しい 家ごとに会費が違うことが不満になっている(商売をしている家は高い) 、 自治会の剰余金が多い 懇親会費(飲酒を伴う新年会等)が町内会費から支出(参加者は良いが参加できない人は不公平では?) 役員手当が不透明 、 町内会費が高い(7,200 円/年)、使い道がよく分からない 会館の改修費用の捻出策
【解決策】
地縁団体化して銀行等から融資してもらう 、 別会計、別組織 、 会館の命名権 会費を安くする(総会等で行事の見直しを行う) 、 会館の壁を活用して広告板に コロナ前まで1万円でしたが、2020 年から半額 5,000 円にしました 参加者で一部負担する(ビールもうかる?役員にプラスになるような)